聖書のおはなし

2024.11.17

『赦された女の人』

聖書箇所　　ヨハネによる福音書　8章1-11

主　　題　　人をさばくためではなく、救うために来られたイエス

暗唱聖句　　「わたしもあなたにさばきを下さない。行きなさい。これからは、決して罪を犯してはなりません。」ヨハネ8:11

目　　標　　赦してくださる主イエスの愛を知る

教会学校のみなさん、おはようございます。

　先週は子ども祝福式でした。イエスさまは子どもが大好きで特別に愛してくださるというお話がありましたね。皆さんもイエスさまが大好きでしょう。私も大好きです。ところが、イエスさまを迷惑だって嫌っている人もいましたよ。その人たちは何とかしてイエスさまを困らせようと意地悪をするのでした。さて、今日のお話は。

**１　引きずられてきた女の人(1～6節)**

イエス様がエルサレムの神殿で、集まった人たちに神様のお話をなさっていた時のことです。イエス様を嫌っている学者たちが、女の人を引きずるようにしてやってきました。「この女.が悪いことをしているのを見つけました。昔からの決まりで、こんな人は、石を投げつけて殺すことになっていますが、あなたならどうしますか?」

そこにいる人たちが一斉にイエス様を見つめました。イエス様がもし、「かわいそうだから赦してあげよう」とおっしゃると、イエス様は昔からの決まりを守らないことになります。けれども、「決まりに従って石を投げよう」とおっしゃったら、「神様の愛を教えているくせに、本当はひどい人なんだ」と言われてしまいます。それに、ローマ帝国に支配されているユダヤ人には、死刑の判決を下す権利がありませんから、ローマ帝国に逆らう犯罪人と言われるでしょう。どのように答えても、イエス様は悪者にされるのです。これは本当に意地悪なわなでした。何とお答えになるだろう、とみんなが見ていると、イエス様は体をかがめて、指で地面に何か書き始めました。どう答えたらよいかわからなかったのでしょうか?いいえ、学者たちの意地悪に気がついていらっしゃったからです。

**２　「罪を犯したことがない人が」(7～8節)**

イエス様が黙っていらっしゃるので、学者たちは口々に詰め寄りました。「さあ、どうしますか？」「早く答えなさい」。何度もせかされて、ゆっくり体を起こしたイエスさまは、責め立てる人たちを見ておっしゃいました。「あなたたちの中に罪を犯したことがない人がいたら、その人が最初に、この人に石を投げなさい」。それだけおっしゃると、イエス様はまた黙って地面に何か書き始めました。



**３　罪を赦すイエス様(9～11節)**

意地悪な人たちは互いに顔を見合わせました。それから、みんな目をつぶって自分の心の中を探ってみました。そのうち年上の人から順に、一人一人下を向いたまま帰っていきました。「悪いことなんかしたことがない」と言える人は、一人もいなかったのです。みんなが行ってしまうと、イエス様は女の人をごらんになりました。「あの人たちはどうしましたか?あなたに石を投げる人はいなかったのですか?」「はい、誰も」と、女の人が恥ずかしそうに小さい声で答えました。イエス様が優しくおっしゃいました。「わたしも、あなたを責めません。さあ、帰りなさい。もう決して悪いことをしてはいけませんよ」。女の人は、「ありがとうございます」と言って家に帰りました。



罪をさばくことができるのは神様だけです。人に「あなたは罪人です」と言うことも、人の罪を赦すことがお出来になるの神の子イエス様は、この女の人の罪をお赦しになりました。赦された女の人は、それからきっと正しい生活をする人になったでしょうね。

**いっしょに考えましょう💡**

①意地悪な学者たちが、「悪いことをしたこの女に、石を投げるべきだと思いますか?」と言った時、

イエス様は何と答えましたか。(「罪を犯したことがない人が、最初に石を投げなさい」)

②誰か石を投げましたか。(いいえ)

③それはなぜですか。(悪いことをしたことがない人は一人もいないから)

④イエス様は、女の人に何とおっしゃいましたか。(「わたしもあなたを責めません。もう悪いことをしてはいけません」)

※イエス様は神様ですが、悪いことをしてしまう私たちを救うために人間の世界に生まれて、私たちの代わりに十字架にかけられました。悪いことをやめて「ごめんなさい」とおわびすれば、神様の子どもにしていただけます。イエス様を信じて、新しい生活を始めましょう！

今週の祈り

「神様。イエス様から離れないで正しい生活ができるように助けてください。イエス様のお名前

によってお祈りします。アーメン」